

4月 22-28 日

詩編 32-33 編

103 番の歌と祈り | 開会の言葉 (1分)

神の言葉の宝

1. 重大な罪を告白すべきなのはなぜか (10分)

バテ・シバとの過ちを犯した後と思われるが、ダビデは罪を隠そうとして苦しみを味わった。 (詩 32:3, 4。塔 93 3/15 9 ページ 7 節)

ダビデはエホバに罪を告白し、許された。 (詩 32:5。近 262 ページ 8 節)

エホバから罪を許されたダビデは、気持ちが楽になった。 (詩 32:1。塔 01 6/1 30 ページ 1 節)



重大な罪を犯したら、告白すべき。エホバに祈り、罪を犯したこと谦虚に認め、許しを求めなければならない。エホバとの関係を取り戻すために、長老たちに助けを求める必要。 (ヤコ 5:14-16) そのようにすれば、エホバからの爽やかさを味わえる。 (使徒 3:19)

2. 宝石を探し出す (10分)

詩 33:6 エホバの言葉によって天が造られた。口から出る息によって天の全てのもの(d*全軍)がエホバの口から出る「息」とは何か。 (塔 06 5/15 19 ページ 12 節) 33:6; 脚注 — エホバの口の「靈」、もしくは「息」とは何のことですか。この靈とは、神が物質の天を創造した時に用いた活動する力、すなわち聖靈のことです。 (創世記 1:1, 2) エホバの口の靈と呼ばれているのは、強力な息のように、離れたところで物事を成し遂げるために送り出されることがあるからです。

今週の範囲からどんな宝石を見つけたか。 (32:9) エホバはわたしたちが、手綱やむちゆえに従うらばやろばのようになることを望まれません。むしろ、ご意志を理解するがゆえにご自分に従う道を選ぶようにと願っておられます。 (33:17-19) 人間の作り上げた体制は、どんなに強力なものであれ、救いをもたらすことができません。わたしたちはエホバとその王国の取り決めにこそ信頼を置くべきです。 (32:7,10) 古代の都市を囲んでいた城壁が住民を保護したように、エホバの揺るぎない愛の行いは私たちを包み、エホバとの絆を弱めるものから私たちを保護します。

3. 聖書朗読

(4分) 詩 33:1-22 (教励 第 11 課)

野外奉仕に励む

4. 謙遜に: パウロの手本

(7分) 討議。動画を再生する。愛込 レッスン 4 ポイント 1-2 を話し合う。

5. 謙遜に: パウロに見習う

(8分) 愛込 レッスン 4 ポイント 3-5 と「参考になる他の聖句」に基づく討議。

クリスチャンとして生活する

74 番の歌

6. 会衆の必要 (15分)

7. 会衆の聖書研究

(30分) 徹 8 章 22-24 節, 67 ページ囲み

閉会の言葉 (3分) | 39 番の歌と祈り

^(詩 32:0-33:22) ダビデによる。マスキル*。 2 違反を許され、罪を覆われる*人は幸せだ。 3 エホバから罪があると見なされない人、誰かを欺こうとしない人は幸せだ。 4 私が黙っていると、私の骨は弱っていました。一日中続くうめきによって。 5 あなたの手が昼も夜も私の上に重くのしかかった。私の気力は奪われた。夏の乾いた熱気にさらされた水のように。 (セラ) 6 私はついに自分の罪をあなたに告白した。過ちを隠さなかった。「違反をエホバに告白しよう」と言った。すると、あなたは過ちと罪を許してくださいました。(セラ) 7 それで、あなたに尽くす*人は皆、あなたに祈る。あなたに近づけるうちに。洪水の水も、その人に達することはない。 8 あなたは私の隠れ場。苦難の時に保護してください。救出の歓声で私を囲んでください。 (セラ) 9 「私はあなたに洞察力を与え、進むべき道を教える。あなたに目を留めて助言を与える。 10 理解力のない馬やラバのようになってはならない。それらはくつわや手綱によって勢いを抑えなければ